

令和6年当初予算案

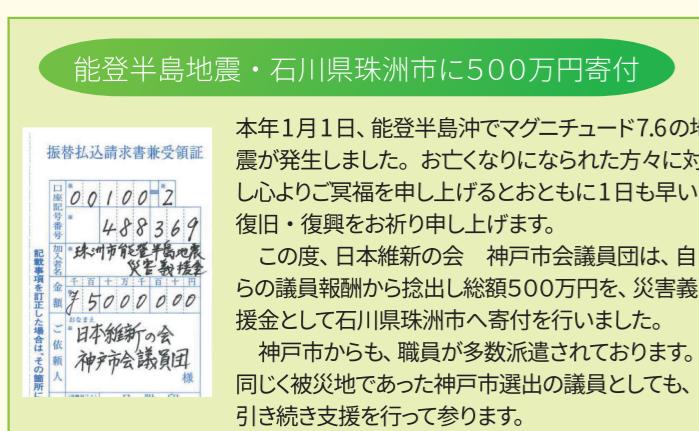
神戸市は総額1兆9270億円の令和6年度当初予算案を発表

都心・三宮の再整備に積極配分

都心・三宮再整備の主な主要施策

- ・都心・三宮の再整備（209億1,700万円）

- ・雲井通5丁目再整備
- ・新たなバスターミナル整備
- ・新・神戸文化ホールの整備
- ・新三宮図書館の整備
- ・三宮クロススクエアの実現に向けた整備
- ・三宮駅周辺歩行者デッキの整備
- ・市役所2号館の再整備
- ・生田川右岸線の機能強化
- ・元町駅周辺の魅力向上
- ・ウォーターフロント地区の魅力向上（46億8,700円）
 - ・ウォーターフロント地区の再整備（神戸アリーナ）
 - ・ウォーターフロントにぎわいづくり
- ・神戸空港の国際化への対応（184億9,300万円）
 - ・サブターミナル建設を含む機能強化
 - ・交通アクセス強化



能登半島地震・石川県珠洲市に500万円寄付



本年1月1日、能登半島沖でマグニチュード7.6の地震が発生しました。お亡くなりになられた方々に対し心よりご冥福を申し上げるとともに1日も早い復旧・復興をお祈り申し上げます。

この度、日本維新の会・神戸市会議員団は、自らの議員報酬から捻出し総額500万円を、災害支援金として石川県珠洲市へ寄付を行いました。

神戸市からも、職員が多数派遣されております。同じく被災地であった神戸市選出の議員としても、引き続き支援を行って参ります。

子育て支援に予算増額

維新会派から要望しておりました、子育て支援予算が増額されました

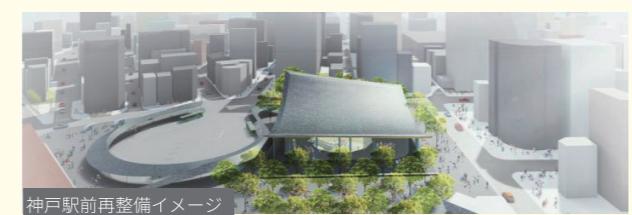
主な施策（一部）

- ・こべっこウェルカム定期便の開始
0歳児世帯に月1回育児用品等を配達
配達に合わせて声掛けや支援情報の提供など見守りを実施
- ・学童保育の充実
- ・中学校給食の全員喫食の実施
中央区は令和6年10月までに完了予定
- ・神戸高専（1～3年生）の授業料負担軽減
- ・高校生等の通学定期補助の大幅拡充

中央区関連予算

主な施策（一部）

- ・花隈駅周辺における自転車放置禁止区域の拡大と無料駐輪場の有料化
- ・路上喫煙対策として屋内型喫煙所整備補助
- ・ポートライナー三宮駅ホーム拡張
- ・神戸駅前再整備
駅前広場・周辺道路再整備、駐輪場の整備



連絡先

日本維新の会市会議員団控室

〒650-0011

兵庫県神戸市中央区加納町6丁目5-1
神戸市役所1号館29階

📞 078-271-0185

神戸中央山手広聴事務所

〒650-0011

兵庫県神戸市中央区中山手通7-20-20

エルムハイツ101

✉ nomachi.hyogo@gmail.com



お問い合わせ



2024.03



日本維新の会

市政報告 2号

のまち 神戸市会 議員 けいいち



令和6年3月5日予算特別委員会

防災関連の質問

質問 01

災害時のドローンの活用について

令和5年9月決算特別委員会

のまち

ドローンが非常に災害に使えるというのは、皆さんもう周知のことだと思います、消防局も導入されているかと思いますが、その導入後の活動実績と、また、今後のドローンの活用の幅がさらに広がっていくと思われる消防防災において、どのような場面において活用していくかを考えているかをお伺いします。また、災害時の各局間の協力関係はどうなっていますか？



防災訓練時のデモンストレーション

消防局

活動実績: 令和2年4月から令和5年8月まで、消防局は38件のドローン活動を実施しました。これには火災現場での活動が最も多く、山岳救助、水難救助、土砂災害、特殊災害なども含まれています。

技術研究: 消防局は民間事業者や防災科学研究所と連携し、ドローン画像処理技術を活用しています。特にオルソ画像処理により、被害状況の確認を行っています。

連携と訓練: 神戸市内の他部局（企画調整局、建設局、港湾局、北区役所）もドローンを保有しており、情報共有と合同訓練を実施しています。大規模災害時には連携を強化し、迅速な対応を目指しています。

危機管理室

平成29年3月に民間事業者と協定を結び、災害における無人航空機（ドローン）の運用体制を整備しています。災害発生時には各部局が被害状況の確認を行い、必要に応じて危機管理室から情報提供を受ける体制を整えています。大規模災害時には協定事業者からドローンを派遣し、情報収集や避難呼びかけなどを行います。

令和5年は建設防災委員会に所属しています



建設局
(道路・下水・王子動物園)



水道局



消防局
(消防・救急・防災)



危機管理室

市政報告会を開催

4月15日(月)

19:00~20:00

こうべまちづくり会館

(元町通4-2-14)

6階 会議室1

申し込みはこちらから→



質問 02

避難所での赤ちゃん対応について

令和5年11月建設防災委員会

ベビー用品メーカーが災害時の赤ちゃんとの避難にまつわる「防災に関する意識調査」を行ったところ、乳児向けのお世話グッズにおいて、紙おむつや着替え用の衣類、ミルクや離乳食等は85%以上の方が避難所へ持参すると選択したのに比べ、折りたたみ簡易ベッドなどの寝具を選択した人はわずか7.8%に留まりました。これは赤ちゃん連れての避難を想定したときの膨大な荷物量から「寝具まで持参できない」と考えた現状があります。そこで、少しでも負担を軽減できないかと、危機管理室に赤ちゃん用簡易ベビーベッドの備蓄について質疑しました。



危機管理室

避難所での乳幼児や妊産婦のための環境整備は非常に重要な課題となっています。現在、避難所では乳幼児や妊産婦がいる家庭のために、粉ミルクや紙おむつなどの必要な物資の現物備蓄を行っています。さらに、一般的な避難スペースとは別に、学校施設内の相談室や多目的室などを福祉避難スペースとして利用できるように配慮しています。

しかしながら、赤ちゃん専用の段ボールベッドの現物備蓄については、現在はまだ検討中の段階です。福祉避難スペースは利用人数に限りがあるため、大規模な災害などで多数の避難者が長期間にわたって避難生活を余儀なくされる場合には、段ボールベッドなどの流通備蓄を活用しながら、避難者が安心して過ごせる環境整備を進めていく考えです

メーカーより寄贈されました!

当日この質疑のネット配信を見ていた、ベビー用品メーカーのコンビワイズ（株）担当者から連絡があり、私と危機管理室とメーカーとの間で協議が行われ、私から強い後押しを行った結果、コンビワイズ社から102床分のダンボールベビーベッドが神戸市に寄贈いただきましたことなりました！

各区に10床程度備蓄されることになります。



コンビ（株）プレスリリース



令和5年12月20日 贈呈式（危機管理室）

質問 03

防災ガイド多言語化について

令和5年6月建設防災委員会

防災ガイドですが、日本語しか書かれていませんでした。神戸市は外国人が多く住んでいるということで、この防災ガイドを読めない外国人はどうすればいいのでしょうかわかりません、そこで、この防災ガイドは外国人にも周知されているのか質疑しました。

建設局

防災ガイドは日常の備えや災害時の避難行動などを記載した記事面と、土砂災害や水害の危険性を示した地図面からなっています。平成8年から毎年配布しており、今年度も6月初旬から各戸に配布しています。ただし、紙媒体の防災ガイドは日本語版しかありません。しかし、電子媒体では多言語化に対応しています。神戸市の情報マップというサイトでは、避難所マップやハザードマップを英語版、中国語版、韓国語版で公開しています。また、防災ポータルサイト「SONAE TO U？」では、防災ガイドの記事を一部掲載しています。そのサイトでは、言語を選択することでグーグル翻訳を利用できます。しかし、翻訳されていない部分や分かりにくい部分もあります。そのため、外国人にも分かりやすいように改善する必要があります。今後は広報紙KOBEスマホ版のように多言語化に対応したホームページを作成するなど、外国人が容易に情報を入手できるような取組を進めています。

→令和5年12月に英語・中国語
ベトナム語のガイドができました！



質問 04

大阪湾断層帯について

令和6年2月28日予算特別委員会

大阪湾に神戸市沿岸部から大阪府南部に向かって南北に伸びる「大阪湾断層帯」という活断層があり、発生確率は低いものの、この断層帯で地震が発生した場合は、能登半島地震のマグニチュード7.6に匹敵する7.5程度の規模が想定され、地震発生後短い時間で津波が到達する可能性もあるとされています。

この「大阪湾断層帯」の地震による被害について、想定しているのか、質疑しました。

危機管理室

神戸市の地域防災計画では、南海トラフ地震、県内外の断層において発生する地震を想定しておりまして、大阪湾断層帯による地震は、30年以内の発生確率が0.1%未満の地震として想定地震に含んでおりますが、被害想定につきましては、発生確率や被害の大きさを考慮いたしまして、南海トラフ地震をはじめ、山崎断層帯、上町断層帯、中央構造線断層帯といった注意すべき代表的な断層帯地震による被害を想定しております。大阪湾断層帯の地震は含まれておりません

のまち

近年想定していなかった場所や規模の地震や津波が起きている、どこまでお金をかけるのかもありますが、市民の安心のためにも検討のほどお願いします。

予算特別委員会質疑

サイバー攻撃対策

令和6年2月28日予算特別委員会

病院、水道、交通などの重要インフラへのサイバー攻撃対策として各システムやネットワークの脆弱性診断、共通のリスクガイドラインの作成などに取り組んでいるが、サイバー攻撃は日々進化し、その手法も巧妙化するため、1度対策を実施すれば終わりというものではなく、システムやネットワークを使用する以上は、防御策を常に更新し続ける必要があり、サイバー攻撃対策は継続して取り組んでいかなければならぬことから、今年度の取り組みについて質疑しました。



危機管理室

国やほかの自治体、民間企業等に対するサイバー攻撃の最新の情報や手法、それから最新のセキュリティ情報を入手し、必要な訓練や対策を継続的に講じていくことが重要と考えてございます。令和6年度は、水道局が所管する浄水場の監視制御システムとか、あるいは交通局が所管する自動列車制御装置などの地下鉄運行に係る保安装置に関するシステムなど、残りの33システム、これの脆弱性診断を実施して自主点検ツールとしてのリスク評価基準書の更新等に取り組んでいます。それらを踏まえ、令和5年度と同様にその所管におけるシステムの点検と必要な場合のシステム改修等に取り組んでまいります。また、ランサムウェアなど悪意のあるマルウェアによる具体的なサイバー攻撃を想定したインシデント対応訓練、それから神戸大学の教授からの助言や研修につきましても引き続き実施していただくなど、重要インフラを所管する関係局室及び外郭団体と連携・協力しながらサイバーレジリエンスの確保に取り組んでまいりたいと考えてございます。

のまち

初動訓練というのも非常に大事です。起きたときの対策というのは非常に大事になってくるかなと思います。



身を切る改革

令和5年10月23日

日本維新の会神戸市会議員団は、[議員報酬の1割を削減を目指す](#)、議員提出議案「神戸市市会議員の議員報酬、費用弁償および期末手当に関する条例の一部を改正する条例」を提出も否決されました。

自民党・公明党・こうべ未来（旧民主系）・その他無所属議員により「[地方議会議員の厚生年金加入](#)のための法整備を求める意見書」が提案されました。日本維新の会は反対しました。

令和5年12月6日

自民党・公明党・こうべ未来（旧民主系）より上程されました、[期末手当増額](#)とする、議員提出議案第8号「神戸市会議員の議員報酬、費用弁償及び期末手当に関する条例の一部を改正する条例」について日本維新の会は反対しました。

布引登山道再整備について

令和6年3月6日予算特別委員会

神戸登山プロジェクトの一環で、布引エリアの環境整備を計画し、新年度予算においても関連事業費を計上しています。このエリアには、布引ダムや谷川橋や砂子橋等の水道関連施設が点在しており、明治33年（西暦1900年）に竣工し2006年には「布引水源地水道施設」として国の重要文化財に指定されています。完成から120年が過ぎたこれらの近代建築と自然とが調和した魅力ある景観を形成している。9月には旧水の科学博物館の登山関連施設への有効利用について提案もさせていただきました。布引周辺の水道施設を管理する水道局においても積極的に景観向上を検討するなど、布引エリアの魅力向上に寄与し、登山プロジェクトの推進や神戸の水の魅力向上も寄与すると考え、質疑しました。

水道局

新神戸駅から見晴らし展望台までのハイキングルートの環境整備が進められており、水道局は管理通路の提供や雄滝のライトアップ設備の更新などを行っています。さらに、雄滝のライトアップ設備の更新、そして重要文化財に指定されている水道施設や歴史的価値のある建造物の活用が進められ、各局連携してプロジェクトを進める準備を行っているところでございます。



再整備に向けて準備が始まった砂子橋（左が9月、右が今年2月）